
**発表！2021年 中部写真記者協会賞
メ〜テレが一般ニュース部門と映像企画部門で
優秀賞をW受賞！**

中部写真記者協会（新聞・通信・放送 計 31 社加盟）の協会賞が 12 月 8 日に発表され、メ〜テレは、「テレビ・映像部会」の 1 位にあたる**優秀賞**を、**一般ニュース部門と、映像企画部門の両部門で獲得**しました。

最も優れた報道映像に贈られる**一般ニュース部門の優秀賞**を獲得したのは、今年 8 月 18 日に「アップ！」で放送された、「**道路が冠水 階段は滝のように**」です。

柳迫 亮カメラマンと大塚加津臣カメラマンが、激しく降った大雨の様子を、臨場感あふれる映像で捉えている事が高く評価されました。

最も優れた映像企画に贈られる、**映像企画部門の優秀賞**を獲得したのは、今年 9 月 28 日に「アップ！」で放送された「**筏下り 600 年受け継がれる技**」です。

久世耕資カメラマンと矢野健一郎カメラマンが撮影した、迫力ある筏下りの映像と、ドローンで撮影した映像美が高く評価されました。

受賞作品は、12 月 15 日(水)～20 日(月)に名古屋市中村区の名鉄百貨店本店で開かれる、「中部報道展」で上映されます。（入場無料）

【一般ニュース部門 優秀賞(1 位)】

「道路が冠水 階段は滝のように」（「アップ！」2021 年 8 月 18 日(水)放送）

撮影：柳迫 亮・大塚加津臣 カメラマン





<受賞者>

メ〜テレ 運用管理部 柳迫 亮・大塚加津臣 (所属：(株)名古屋テレビ映像)

<受賞のコメント 代表 大塚加津臣>

この度は、誠にありがとうございます。

今年は台風ではなくゲリラ豪雨や線状降水帯の影響で、
多くの地域で冠水などの被害がありました。

「豊橋市内で、冠水しているらしい」

夜明け前にニュースデスクから掛かってきた1本の電話から取材が始まりました。

急ぎ住宅街に向かうと、道路が川と化していました。

進むにつれて、足首ほどの高さだった水位は
高くなり、危険を感じ引き返す判断をしました。

通勤時間という事もあり、多くの車はそのまま進み、立ち往生をしていました。

「ここまでひどい状況はみた事がない」と、地域の方が話していたのが印象的でした。

雨が止むと、水位が下がるのがわかりました。

この地域にケガ人が1人も出なかったことが幸いです。

これからも取材を通じて、1人でも多くの方に災害対策の重要性を届けたいと思います。

※なお、メ〜テレは、上記の「一般ニュース部門」で、小坂恭平カメラマンの撮影による「このぼりとサク
ラ」が、**奨励賞**に選ばれました。

【映像企画部門 優秀賞(1位)】

「筏下り 600年受け継がれる技」 「アップ!」2021年9月28日(火)放送

撮影：久世耕資・矢野健一郎 カメラマン



<受賞者>

メ〜テレ 運用管理部 久世耕資・矢野健一郎 (所属：(株)名古屋テレビ映像)

<受賞のコメント 代表 久世耕資>

この度は優秀賞を受賞することができ、とても嬉しいです。
以前、取材させていただいたことのある「筏下り」の魅力を
多くの人に知ってもらいたいと思い、企画しました。

伝えなかったのは、

『大自然を流れる筏の美しさ』

『激流だけじゃない緩流の魅力』

『筏師の技』です。

私が一番気に入っているカットは、ほぼ直角に曲がる筏を真上から撮影した映像です。

ここは、筏師に聞いた難所のひとつでしたが、筏師の奮闘する姿を、唄と映像で表現することが
できて良かったと思います。

今回主に使用したカメラは、手のひらサイズのドローンと GoPro なのですが、ドローンでの撮影では、
私の想像をはるかに超える美しい映像の連続に、あらためてドローンの威力を感じました。ドローンを
駆使して撮影に挑んだ矢野カメラマンに感謝しています。

和歌山県北山村の筏下りは、来年5月3日からはじまります。

是非、体感してみてください！

上記の賞以外にも、メ〜テレは、「ニュース企画部門」で、矢野健一郎カメラマンの撮影による
「共に歩む ～心の復興を考える～」が、**奨励賞**に選ばれました。

<参考>

「中部報道展」

- ・会場：名古屋市中村区 名鉄百貨店本店 本館 10 階 美術サロン
- ・期間：12月15日(水)～20日(月) 10時～19時 最終日は17時まで
- ・入場無料